

歯科医師・薬剤師との連携

医療や介護が必要となっても住み慣れた地域で最期まで自分らしい生活を送ることができるためには、異なった専門的背景をもつ多職種が主体的に連携し、共有した目標に向けて共に働くことが必要です。

今回は、歯科医師・薬剤師の方に『ケアマネジャーとの連携』について伺ってみました。

一般社団法人 浜松市歯科医師会 担当理事（在宅歯科・介護専門部会）
鈴木歯科医院 鈴木隆之

つい、20年くらい前までは、90歳で入院されている患者さんは少なかったものです。しかし、今では往診等で施設・病院へ伺うと、90歳代さらには100歳代の方も珍しくありません。まさに、人生100年時代です。大切なのは、いかに自分らしく生きるかであり、歯とお口の健康と機能の維持することは間違いなく人生を最後まで豊かにしてくれます。

浜松市には、在宅で暮らす通院困難な方を対象に、無料でお口の中をチェックできる「歯科訪問診査」という、素晴らしい制度があり、多くの人に活用していただければ幸いです。

地域の患者さんの幸せのため、歯科医師会でも多職種で連携を進めていきます。今後ともご協力よろしくお願い致します。



浜松市歯科訪問診査とは

浜松市では自宅等で療養している歯科医院へ行くことが難しい方を対象に、歯科医師がお宅に訪問して、歯や口の中・入れ歯などの健診を受けられるシステムがあります。

歯や口の中・入れ歯の不具合など気になっていること、今の状態が良い状態なのか知りたい時など、歯科医師がお口の中を診て、相談や指導を無料で行います。また、歯科訪問診査後は、必要に応じて歯科治療（有料）や、専門の担当者による口の機能向上指導（有料）を定期的に受けることもできます。

《対象となる方》

浜松市民で身体的理由または精神疾患や認知症等で通院困難な在宅療養者の方

※ 年齢の制限はありません。また、病院や介護保険施設等に入院入所している方は対象ではありません。

《申し込み方法》

浜松市口腔保健医療センター（歯の健康センター）までお問い合わせください。

TEL：053-453-6129 FAX：053-453-3238

《費用》

診査料・交通費ともに無料です。原則として年1回受けることができます。

（状態が変わった場合は再度受ける事ができます）

詳しくは浜松市歯科医師会のホームページをご覧ください。

➡ [浜松市 歯科訪問診査](#) と検索



薬剤師の在宅業務

一般社団法人 浜松市薬剤師会 担当理事(在宅介護委員会)

鈴木謙市

日頃は浜松市薬剤師会および薬局業務に、ご理解、ご協力をいただきましてありがとうございます。
現在、地域包括ケアシステム構築を実現していくため、薬局はこれまで以上に在宅医療に積極的に関与し、多職種との連携が強化できるように努力しております。

その中でケアマネジャーの皆さんとの連携は非常に重要で、薬剤師が在宅業務をしていく中で多くの助言をいただき、今後さらに連携できればと常々思っております。

利用者様の薬に関する下記のような困り事がありましたら、お気軽に薬剤師に相談ください。

- ・飲み残しが多くて困っている
- ・薬を嫌がり服用してくれない
- ・嚥下力低下で口腔崩壊錠や粉薬などへの剤型変更をしてほしい
- ・薬がたくさんあって飲ませ方が複雑
- ・いろいろな病院から処方される薬の飲み合わせが心配 などなど



私達は様々な職種との橋渡し役となり、円滑な治療の継続、介護者の負担軽減など一緒に問題点を洗い出し、最良の解決策をご提案させていただきたいと思っております。また利用者様が退院される際には、生活環境の把握や今後の薬の管理を引き継がせていただくためにも、退院時カンファレンスにぜひお声掛けをいただければうれしく思います。

浜松市薬剤師会では、「浜松市認定在宅医療・介護対応薬局」事業を行っております。2015年から始まった継続事業で、認定要件を満たした薬局は在宅医療や介護に関する相談に適切に応じられる薬局です。浜松市および浜松市薬剤師会のホームページに薬局名が掲載されておりますので、ぜひご活用ください。

今後もケアマネジャーの皆さんはじめ、多職種との連携を強化し、市民の皆様の健康を守るように努めてまいりますので、引き続きよろしく願いいたします。

下記に「[浜松市認定在宅医療・介護対応薬局一覧](#)」が掲載されています。

浜松市ホームページ > 健康・福祉・子育て > 健康・医療 >

在宅医療・介護 > 「浜松市認定在宅医療・介護対応薬局」認定事業について

または  と検索



先生方にはお忙しい中原稿をお寄せいただき、ありがとうございました。

歯科医師や薬剤師をはじめとした利用者様にかかわる多職種の方々は、大変ありがたいことにケアマネジャーとの連携の意識を高く持ってくださいます。多職種の方々へケアマネジャーから積極的に連携・相談を行い、支援チームを形成していきましょう。次ページに掲載の[FAX相談票](#)もご活用ください。



歯科医師・薬剤師へのFAX相談票は下記に格納されています。



浜松市ホームページ > 産業・ビジネス > 福祉・介護 > 介護保険事業者の皆様へ >

浜松市介護サービス事業者連絡協議会・浜松市介護支援専門員連絡協議会からのお知らせ

< 歯科FAX送信票 相談・情報提供・報告 >

< FAX送信票 > 薬剤師相談用

< 歯科FAX送信票 相談・情報提供・報告 >

FAX 053-453-8893 浜松市歯科医師会
TEL 053-453-8847

令和 年 月 日

かかりつけまたは希望する歯科医院名 _____ 事業所名 _____
(なければ空欄で) 介護支援専門員氏名 _____

連絡先TEL _____ 返送先FAX _____

患者・患者家族の連絡先TEL _____ キーパーソン _____

(被保険者氏名) フリガナ _____ 生年月日 _____ 年齢 _____ 性別 _____

M
T
S 年 月 日 男・女
才

上記の方につき・疑問点、問題点があり、歯科医師にご意見を伺いたいことがあります
・お知らせすることがあります
(担当歯科医各位 ご多忙のところ恐縮ですが、下段へご回答をお願いいたします。)

ケアマネジャーの意見・質問
口頭で補足することがあります。 はい・いいえ

(ご本人、ご家族の同意を得ております)

回答 令和 年 月 日

回答者・担当歯科医師名: _____ TEL: _____

2019.5

< FAX送信票 > 薬剤師相談用

令和 年 月 日

(薬局名) _____ (事業所名) _____
(氏名) _____ ケアマネ・看護師・ヘルパー・
(職種) その他() _____

(連絡先)TEL _____
(返送先)FAX _____

フリガナ 利用者氏名	生年月日	M・T・S 年 月 日	性別	男・女
住所				

<ケアマネ・訪着・ヘルパー・その他>の意見	薬剤師の意見
-----------------------	--------

返信必要 返信不要
 担当ケアマネ: _____
 支援事業所名: _____

薬局・薬剤師名: _____
 連絡先: TEL/FAX _____
 原簿療養管理指導可否(可能・不可能) _____
 (記入日) 令和 年 月 日

- ・浜松市歯科医師会 (FAX 053-453-8893) へFAX送信する。
- ・かかりつけの歯科医師がない場合は、利用者様の最寄りでは対応可能な歯科医師を歯科医師会が紹介してくれる。
- ・相談内容によっては、保健センターの歯科衛生士が現状確認のため、訪問を計画することもある。

- ・医師への相談用FAXとは違い、利用者様・家族様の承諾確認欄はないが、必ず承諾を得ること。
 - ・薬局名に関しては利用者様または家族様に確認する。分からない場合は、服薬情報提供書や薬袋で確認すること。(院内処方や不明の場合は、浜松市薬剤師会事務局へFAXを)
- ⇒ 浜松市薬剤師会 : FAX 053-455-0627

ケアマネジャー実務ガイドブック (浜松市介護支援専門員連絡協議会研修委員会監修) 参照



当連絡協議会の第2回研修会が、11月23日に浜北文化センター3階大会議室にて開催されました。今回は「課題整理総括表の作成について」のテーマで行いました。最初に作成方法について、静岡県介護支援専門員協会 鈴木喫副会長にご講義頂き、その後Aコース45名、Bコース73名がコース別にグループワークを行いました。

Aコース（課題整理総括表をもっと勉強したい人）では、各自の覚えているケースを振り返りながら記入していき、阻害要因にスポットをあてケースの捉え方など深めていきました。アンケート結果では、「阻害要因の表現が難しいが、グループで検討する事で、違う視点で問われ自分では思いつかない発見もあり参考になった」、「現状を具体的に拾い上げる事で多面的にみる事の大切さを学び、立体的に捉えて考察する視点が理解できた」、「話し合うとだんだん事例がクリアになっていく過程を体感でき、不安な事が明確になった」、「アセスメントからニーズを導き根拠を持って表す事が実践できた」との意見がありました。



Bコース（慣れていない人）では、共通事例を通じて課題整理総括表の作成からケアプラン2表のニーズへつなげることができるように行いました。アンケート結果では、「アセスメントの重要性を再認識でき、着目する所により、見通しが変わる事に責任感を感じた」、「文章力も大切だが、その人となり記録するに従い、整理できていく自分に気づく事ができる」、「ただ事実を書くのではなく、事実の背景にある要因について分析し、見通しを書く事で実現可能な事と、そうでない事が表現される仕組みが1枚のシートになっているので、今後もっと活用していきたい」、「ニーズの根拠付けとなる事に気づけ、情報の整理にも役立ち、担当者会議等で本人や家族、事業所への情報提供にも活用できると思った」との意見がありました。

講義全体については、大変参考になった64%、参考になった36%と高い評価が得られ、グループワークについては、大変参考になった41%、参考になった59%となっており、参加された皆さまにとって有意義な研修になったのではないのでしょうか。

課題整理総括表はコミュニケーションツールであり、書いた物を使って他のケアマネジャーや他の職種と意見交換しながら、より良い課題分析あるいはケアプランを検討することをねらいとしています。ケアマネジャーによる情報の整理・分析の結果を一覧表にして、どの様な要因に着目し、その要因の解決のために具体的にどのような支援内容を提供する必要があると考えたのかを表せます。そして、そのケアを提供する事で、利用者様の生活がどの様に変化することを目指すのかをチームのメンバーと共有することに活かせる事を学びました。

課題整理総括表を上手に活用することで、多職種間のコミュニケーションを円滑にして、利用者様の願いを一緒にかなえていきたいですね。



浜松市版人生会議手帳

浜松市介護支援専門員連絡協議会 副会長 加藤千重子

浜松市では、「人生の最終段階における医療・ケアの普及啓発事業」として、2018年度から準備を始め、2019年末に浜松市版人生会議手帳が完成いたしました。

命の危険が迫った状態になると、約70%の方が、医療やケアなどを自分で決めたり、望みを人に伝えたりすることが、出来なくなると言われています。そのため、自分自身で元気なうちから前もって考え、どこでどんな治療やケアを望むかを周囲の信頼する人たちと話し合い共有することが大切と言われています。

2020年1月から、浜松市各地で専門職・市民向けに研修や講演会を開催してまいりました。すでに、利用者様や家族様の中には、この「浜松市版人生会議手帳」をお手にされた方もいらっしゃると思います。

利用者の皆様にとって、私達介護支援専門員は、一番身近な存在です。質問されることもあると思います。その際は、是非、この手帳をもとに、その方の大切にしている事を一緒に考えたいと思います。もし、「考えたくない」とおっしゃる方がいらっしゃいましたら、そのお気持ちを大切にしてください。その方の、その時のお気持ちです。状況や立場が変われば、変化することもあります。気持ちは「ゆらぐ」ということもしっかり受け止め、気持ちが変わった時に、また、話し合っていたきたいと思います。

「浜松市版人生会議手帳」は、市・区役所、地域包括支援センターで入手することができます。また、浜松市のホームページ（下記参照）からもダウンロードすることができますので、是非、ご活用ください。



浜松市ホームページ > 健康・福祉・子育て > 健康・医療 >

在宅医療・介護 > 人生会議 (ACP: アドバンス・ケア・プランニング)

または と検索

—編集後記—

令和初の桜の季節到来。日本の歴史や文化に深くかかわってきた桜は、日本を象徴する花です。『令和』が引用された日本最古の歌集『万葉集』でも、桜はたくさん詠まれており、この時代にも桜が人々に愛されていたことがわかります。「散り際の美しさ」が通説ですが、散る様の美しさは、花が咲いてこそ、つまり生き抜いてこそその姿です。私たち人間も、生き抜いてこそ、他者と協働して自らの価値を感じることができるのではないのでしょうか？

『万葉集』の時代に比べ平均寿命が3倍ほどになっている今、そして、更なる高齢化社会に向かっていく今、多くの人の生き抜く場面に関わることができる私たちの仕事は、社会的にも益々重要になってくるように思います。

今年は、オリンピックイヤー。世界中のアスリートの活躍から得られる感動をエネルギーに変え、自らのスキルアップに繋げていきたいですね。その先に見える社会的地位の確立に向かって。



ケアマネの部屋 No. 26 号はいかがでしたでしょうか。ご意見やご要望がございましたら事務局までお寄せください。(介護保険課 FAX: 053-450-0084)

今後、ますます充実したものになりますよう、関係皆様のご理解とご協力をお願いします。

【広報委員会】(副会長) 加藤千重子 (南区) 大迫睦 (北区) 太田世津子 (中区) 北村庄吾
(天竜区) 金原純子 (東区) 成瀬和紀 (西区) 長谷川和歌子 (浜北区) 松井江里子